

視 察 研 修 等 報 告 書

令和 8 年 1 月 2 日

坂井市議会

議 長 佐藤 寛治 殿

会 派 名 チャレンジさかい

報 告 者 三宅小百合

1. 日 時 令和 7 年 12 月 20 日 (土) ~ 12 月 21 日 (日) 2 日間

2. 視 察 研 修 先 お城 EXP02025
パシフィコ横浜ノース 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-2

3. 視 察 研 修 内 容 20 日 (土) 展示エリア、丸岡城ブースの視察
21 日 (日) 厳選プログラム聴講

4. 参 加 者 三宅小百合

5. 内 容 詳 細 お城 EXPO 2025 視察
お城を有する自治体が出展しており、本市丸岡城も出展。
お城にまつわるさまざまな展示、多彩なセミナーが開催される。
「加藤清正と藤堂高虎の城」
「お城 EXPO 10 周年記念シンポジウム」

6. 所 見 ・ 感 想 等

(目的)

全国の城郭・歴史資源の保存活用状況および観光・地域振興への取り組みを把握するため。

(全体の印象)

全国各地の城郭や関連自治体、観光団体など 127 団体が一堂に会し、展示・物販・講演など多様な形で城の魅力を発信しており、過去最高の来場者数を更新しました。全国のお城ファンの城郭文化への関心の高さを強く感じた。特に若年層や家族連れ、外国人来場者の姿も目立ち、城を核とした観光コンテンツの広がりを実感した。

(丸岡城ブースの様子)

丸岡城ブースにも多くの来場者が集まっていた。今年はミニ講座を 10 回開催し、講

師に坂井市学芸員や、丸岡城百口城主等を起用し、熱心に聴講するお城ファンが集まった。また坂井市公式キャラクター「ほや丸くん」が応援に駆けつけ、ファンとの写真撮影や交流を楽しむ様子が見られた。キャラクターを活用した PR が、丸岡城ブースへの誘導に有効であることを改めて確認した。

(他自治体・展示からの学び)

他自治体では、城郭の歴史的価値だけでなく、城下町全体を含めたストーリー性のある展示を行っており、デジタル技術（映像・VR 等）を活用した分かりやすい解説を行っていた。また SNS のフォローにより記念品を配布し、大河ドラマに取り上げてもらうための署名集めやクラウドファンディングなど、さまざまな工夫が見られ、観光誘客や関係人口創出への意識の高さが感じられた。

(所感・今後への活用)

今回の視察を通じ、城郭は単なる歴史遺産にとどまらず、地域の誇りであり、観光・交流人口拡大の核となる重要な資源であることを再認識した。

令和 8 年に築城 450 年をむかえる丸岡城においても、既存の歴史的価値に加え、キャラクターやイベント、体験型コンテンツを組み合わせることで、さらなる魅力発信が可能であると考えます。今後は、他自治体の先進事例も参考にしながら、丸岡城を中心とした地域活性化策の検討に活かしていきたい。

7. 添付書類

